

国会請願 岩手は2828筆目標の7割

全国は9万8千筆、大幅減目標の27%



国会請願は5月12日、中央本部・関東ブロックによって行われ、9万8千筆を提出。岩手・東北は参加しませんでしたが、結果は別表のとおりです。

岩手は久慈支部400筆、釜石支部500筆、新婦人500筆超、等個人署名2828筆と104団体署名を岩手・東北選出の6議員に託しました。目標の7割の達成で検討しました。会員・各団体のご奮闘に感謝します。

参院長野選挙区補選で当選した羽田氏もさっそく紹介議員になっていただきました。

個人署名の達成状況

	目標	昨年	今年	%
青森	7000	2715	2195	31%
岩手	4000	4062	2828	71%
宮城	4400	1947	550	13%
秋田	6000	2959	2031	34%
山形	10000	6862	7009	70%
福島	3000	956	745	25%
東北	34400	19501	15358	45%
全国	362000	123000	98000	27%

団体200筆を目指すとします。また『新しい明日をめざして』の学習を強めます。

県理事会 7月14日(水) 10時から 盛岡中央公民館

なお、今年の中央ブロック交流集会も中止となります。



発行所
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034 東京都文京区
湯島2-4-2 全労連会館
国賠同盟岩手県本部
〒020-0013 盛岡市愛宕町
17-4 牛山靖夫方
T/F 019-623-8648

▼『新しい明日』を犠牲者遺族に届ける (鶴彬・伊藤新三郎) ▼ 笹原由蔵さんから (仙台市)
義父新谷耕一 37回忌のこと (小林紘二)
▼『新しい明日をめざして』を読んで (川村勝)
（多田久夫） ▼『新しい明日をめざして』はこうして生まれた (牛山靖夫)
連載第4回

県大会は中止し 理事会で代行

6月に予定の全国大会(2年に一度)は来年に延期になりました。

今年の県大会も中止し、昨年同様、県理事会で代行することにします。基本方針は、署名目標を個人400筆と

5月18日入管法改定案が事実上廃案となりました。昨年の検察庁法改定断念に続く、世論と運動、野党の共闘の大きな勝利です。

でも3月に名古屋出入国管理局でスリランカ人のウイシュマ・サンダマリさんが亡くなり、その真相解明がなされていません。「大好きな日本で姉はなぜ死ななければならなかつたのか」と来日したウイシュマさんの妹さんは、「動物みたいな部屋、ここで姉は殺された」と語りました。まるで独房状態、治安維持法犠牲者の体験と重なりました。こんな非人道的なことが今もなされていることに驚きました。

それもそのはず参院比例候補のふなやま由美さんによると、戦前の入管は、内務省管轄で扱い手は特高警察、治安維持法取り締まりの制度であり、悪法が今の入管法に引き継がれている部分があるというのです。戦前の天皇制の亡靈のようです。ウイシュマさんの死が、内閣の入管法に引き継がれている部分が、この運命に若いいたちが多く立ち上がったことは希望です。政治は変えられる!変えていかなくては! (D)

一寸一言

5月18日入管法改定案が事実上廃案となりました。昨年の検察庁法改定断念に続く、世論と運動、野党の共闘の大きな勝利です。

「新しき明日をめざして」を

犠牲者遺族に届ける



鶴彬

石川県出身のプロレタリア川柳作家鶴彬（本名喜多一）（カツジ）の墓は盛岡にある。盛岡で染物屋をしていた兄の孝雄が遺骨を引き取つて建てたもので、父・母・義姉・そして兄の孝雄もそこに眠っている。

孝雄の妻多鶴さんは、妹・そして兄の孝雄もそこに眠つた。いま喜多家の墓を守る富美さん（孝雄の故長男の妻）に「新しき明日をめざして」を届けると、鶴彬のページを開いて遺影の写真が並ぶ仏壇に備えていた。

そう語った多鶴さんも3・11大震災大津波の直前に他界し

た。いま喜多家の墓を守る富美さん（孝雄の故長男の妻）に「新しき明日をめざして」を届けると、鶴彬のページを開いて遺影の写真が並ぶ仏壇に備えていた。

伊藤新三郎



山形県出身の伊藤新三郎は、山形県の農民運動や上京して京浜工業地帯で活動し、22回の検挙・拷問を受けた。戦後は岩手で共産党や平和運動・全日労等で活動し、国賠同盟の顧問をつとめた。遺族のひろ子さん

義父新谷耕一の三七回忌のこと

小林 純一（盛岡市）

ことしの四月二〇日は、義父耕一の三七回忌が行われました。妻禎子とともに遠野市の善明寺に法要と墓参りに向かいました。あいにく冷たい雨が降る日でした。法要には、生存する四人の子供とその連れ合いが参列しました。墓前には、花が手向けられ、線香の煙がいつまでもたなびいていました。墓碑銘には、「唐松院西岳耕心居士 昭和六十年四月二十日 耕一アララギ派歌人」とありました。四人の兄弟、姉妹とその家族たちは、高齢になつた自らの近況を語り、故人と若かりしときの思い出を語り合いました。

1 労農党と新谷耕一

1925年（大正14年）泉国三郎弁護士が東京から遠野町に事務所を開設

今から3年前の2018年春三月十五日、日本共産党と労働農民党などの活動家の一斉検挙、弾圧事件から九〇年の節目の日を迎えた。昭和三年（1928年）三月十五日、全国三〇の都道府県、一六〇〇人が逮捕されました。これは、日本が

戦争を本格的に進めるうえで国内の反対する勢力を根こそぎにする3・15弾圧事件として有名です。小林多喜二もこの事件を「一九二八年三月十五日」という小説にし、事件を告発しました。

岩手でも3・15事件は、労農党の活動家の一斉検挙が行われ、遠野では、泉国三郎、松館精一、新谷耕一の三氏が検挙されました。しかし、治安維持法には該当しないとして、翌日、釈放されました。これに先だって治安維持法国賠同盟岩手県本部から私に『新

谷さんについては、「3・15事件で検挙、釈放、当時労農党員」としかわかつていません。「九〇周年を境に検証と記録にとどめたいので教えていただきたい」と要請がありました。

金石鉱山大争議（P22註1）小繫裁判（P61註3）でも布施さんが奮闘したことを探りました。ビデオにもあつたのだろうが、耳が遠くて聞き洩らしたのかも。この本に載つた方々に。載らずとも、様々なところで正義を貫いた方々があればこそ、今があることを痛感します。

仙台市 笹原由藏さんより



（4人姉妹の末っ子）は滝沢市に住んでいます。「新しき明日をめざして」を送るとお礼の電話を頂いた。

ひろ子さん達は苦労して育つた。家にいない父親は亡くなつたと教えられて育つた。ひろ子さんが父親と一緒に暮らすようになつたのは、盛岡の中学校に入つてからであつた。だから父親はいい父親ではなかつた。

その父親について、「新しき明日をめざして」や「不屈」中央版3月号の「抵抗の群像」欄に載つたことについて、

「今ようやく親孝行させていただいている

とひろ子さんは感謝していました。

同盟としても又一つ良いことができたと思う。

国民の戦いで勝ち取つた初めての普通選挙、労農国民党は、各地で候補者を立て、国政選挙を戦いました。投票日は、二月二八日、真冬の選挙活動、遠野の厳冬の中でのポスター貼り。二八才の青年だった新谷は「選挙活動ほど大変なものはない。バケツに糊を入れ刷毛をもつて、夜中にポスター貼り。寒さで糊が凍り、手がかじかみよく貼れなかつた」と當時を語つてくれました。

2 宮沢賢治と労農党

新谷は、労農党碑和支部の活動を通じて宮沢賢治との交流がありました。

賢治から「贋写版、カンパなどの差し入れがあつた」ことは、義父から何度も聞かされました。宮沢賢治については、本書の「解説」(P26)にあるように、農民の暮らしの向上を願つて作った羅須地人協会の活動と「ほんとうのしあわせ」をもとめて社会や政治に目を向け、ひそかに労働農民党を支援したことに共通の思いがあると私も感じています。

義父と賢治との手紙のやりとりもあつたようです。手紙の存在は、不明です。義父と賢治とがどんな思いを語り合つたのか、「聞かずじまい」にしてしまつたことが悔やまれてなりません。

3 歌人としての新谷耕一

歌人 北野唐松 アララギ派 「東北歌人」同人

1924年（大正13年8月）盲目の歌人下山清、遠野に来る。新谷家を訪ねる。

24年から2年くらい遠野に寄宿 新谷家の近くリンゴ小屋で番人



新谷家は、鍋倉山の中腹に料亭「遊仙閣」を経営
新谷耕一は、歌人として下山清と交流

終わりに

晩年、義父耕一は、よく飲み交わした中

で「今一番私たちのやつたことを引き継い

でいるのは君たちだな」と言つてくれました。
「なんでもっと、いろいろ教えてもらわなかつたのか」と悔いが残る37回忌の法要でした。

川村 勝（盛岡市）

歴史書には、中央集権性が反映されているものが多いなかで、この書籍は岩手の人びとの運動を主体として編纂されていると、によって読者は、学校の教科書ではなかなか学べない史実の多くに接することができます。この調査と研究に敬意を表します。

この書籍は、先駆的な先人が国家権力の支配と弾圧に抗した闘いを、個々の事件と個々の人びとに即して具体的で実証的に、そして簡潔にまとめられているところがいいと思います。それによつて読者は、学校の教科書ではなかなか学べない史実の多くに接することができます。この調査と研究に敬意を表します。

せつかく登場した書籍です。特に、登用されている人物とその地域に何らかのゆかりのある人には、地元の近・現代史として、立場を超えて是非読んでいただきたいと思います。そのためにもできれば、書店で販売されることを望みます。また県内の各図書館と国立国会図書館の蔵書として納められ、広く知られるようになります。

「治安維持法」による犠牲者への国家賠償が、日本国憲法下で

＊一揆についての「提案もありましたが、検討させていただきます。

（河南9条の会）

「新しき明日をめざして」を読んで

多田 久夫（盛岡市）

◇小繫事件の辛酸をなめるような闘いの平面、1899（明治32）年制定の「国有土地森林原野下戻（さげもどし）法」と裁判闘争によつて入会地「志戸前山」（零石町・御明神地区）4700町歩余りを明治政府から全面返還させた勝利の闘いがあります。その記録は、JR田沢湖線赤渕駅からおよそ800mの所（竜川の橋を渡つてすぐ右折）に記念碑としても残されていました。その山林面積は盛岡市・矢巾町・紫波町にまたがる今の鹿妻堰の受益面積を上回り、旧県庁舎のヒノキ材を供給した山林でもありました。

◇アジア太平洋戦争中の旧松尾鉱山で最多時426人の朝鮮人が労役させられたことなどは、秋田県の花岡事件（中国人986人中、419人殺害）とともに、日本の加害の舞台となつた岩手の史実として後世に伝えたいものと思います。ただし、1945年8月9日の鉱山への爆撃の資料は柏台の資料館にある程度残つてますが、朝鮮人の労役の実態を証明する資料は皆無に等しい状態です。当館の学芸員によると労役させられた遺族の一団が戦後韓国から訪れた際、一行は資料のない事実に落ち胆して帰つたという。加害を伝える資料を残さない、残せない

最後に、今後検討してほしいことを挙げておきますので、ご検討ください。

◇小繫事件の辛酸をなめるような闘いの平面、1899（明治32）年制定の「国有土地森林原野下戻（さげもどし）法」と裁判闘争によつて入会地「志戸前山」（零石町・御明神地区）4700町歩余りを明治政府から全面返還させた勝利の闘いがあります。その記録は、JR田沢湖線赤渕駅からおよそ800mの所（竜川の橋を渡つてすぐ右折）に記念碑としても残されていました。その山林面積は盛岡市・矢巾町・紫波町にまたがる今の鹿妻堰の受益面積を上回り、旧県庁舎のヒノキ材を供給した山林でもありました。

三陸漁業協同組合も、多くの教員も

苦労の多い貴重な努力

多田 久夫（盛岡市）

牛山靖夫さんが、戦前の治安維持法等で弾圧された岩手の人々の歴史を研究し、機関紙「不屈」に書き続け、この程『新しき明日をめざして』にまとめられた意義は言葉にできない程大きい。闘いと運動を丁寧に調べ書いていることに感謝と敬意を表します。



この本で、三陸漁業労働者組合を準備し、大槌支部と山田支部をつくった人達がいたことを初めて知りました。社研活動や労働者・農民の運動が弾圧された時代の中でより困難な漁民や漁業関係者を組織しようとした先人がいたことに驚きました。その先頭に立つたのは、地域の教員であったというから思想の高さに驚きました。

「生活綴方事件と呼ばれる教育運動への弾圧もありました。生活の現実を綴らせて、ものの見方・考え方・生き方を育て、逞しく生き抜く力を身につけさせる運動でした。教員への弾圧は名簿欄の300名近い人の一割近いと思いました。

「高橋テミ看護婦の救援活動」に感動

北上市出身の元看護婦・高橋テミさんは14歳で結婚し、重労働と辛抱の日々に疑問を持ち、7年目に離婚。自活のために看護学校に入り横浜のサナトリュウムに就職。1930年頃、そこで共産党系の青年たちと触れ合い、赤色後援会ニユースの印刷や発送を手伝うようになりました。小林多喜二の演説会にぎで食事を作りました。その「おじさん」が急に来なくなつた後、自分は北上に戻りましたが、療養所にいた姪から「おじさん」の所在と名前が分かつて連絡があり、高橋さんがタオルの寝巻と自分の写真と手紙を送りました。「おじさん」は送った君の戦いは必ず強く発展するでしょう。心ある人びとはあとからあとから人民の戦いに参加されるでしょう」書き記してあつたということです。



身边に出会った先輩たちに「誇り」

名簿編には、尊敬する先輩や恩師もいました。柳館与吉さんは、私の下宿先の白藤至さんの亡くなつた夫・五郎さんと盛岡中学の同級生とともに活動。彼岸に訪れることが多く、話し合うことがありました。物静かな紳士で明晰な人でした。川村金一郎さんは、赤旗集金で顔を合わせドイツ語のレコードを聴きました。笠原潤二郎さんは、岩大農学部の「生物界の弁証法」をテキストにしたゼミの恩師でした。

特高の拷問に思う一人間の尊厳を掲げて
柴田稻造さんからの聞き書きへ拷問で氣絶し、気づいたときは留置場だった。壁にすり寄つてみると文字が書いてある。「同志よガンバレ」「同志、俺はもうダメだ」ボタンを割つて書いたものらしい。お互いを励ます言葉がいろいろ書いてあった。「死ぬな。ガンバレ」「その日まで、ガンバレ」それを見たらもう涙が出て仕方なかつた。(P121)へ留置場で苦しさを紛らすように革命歌を歌う。あつちでもこつちでも低い声で連絡をとりながら唱和する。(P46)これを読んで、私は人間が潰されそうな局面で「同志よ固く結べ」が人間を鼓舞した歌だと思えました。野蛮な弾圧と戦争への道を許してはなりません。

買ったけど読んでいなかったというひさん、「結構面白い、帰ってじっくり読む!」と言いました。

「新しき明日をめざして」 感想募集中

字数制限なし

興味のある所からお読みください。
率直なご感想・ご意見をお待ちしています。

送付先

〒020-0105 盛岡市北松園4-21-7

FAX 019-661-3304 田中館安子

✉ ankodate5574@gmail.com

連載
「新しき明日をめざして」
治安維持法等で弾圧された
岩手の人びと」は、
こうして誕生した
(牛山靖夫記)

第4回

(三) 人とのつながり、結びつきに支えられて

前号の続き

▼吉田孤羊さん 孤羊さんは生前お会いする機会がなかつたことは残念でなりません。吉田家に入りし、遺品を整理しながら、貴重な資料に接することができます。

①治安維持法案に反対決議!法案に反対する運動は東京だけでなく全国各地にありましたが、『新しき明日』に載せた岩手無産青年社の反対決議文のような当時の資料の存在は極めて稀だと思います。

②横田義十書簡!在京の孤羊さんに宛てた義十(義重)さんからの書簡70通があり、岩手の無産運動の動向を知ることができます。

③岩手無産青年社!関東大震災の前、孤羊さんは東京の新聞社に勤め、盛岡出身の松本政治さん、高橋松太郎さん(*)、横田義十さんも上京して、それぞれ出版社で働いていました。



織田秀雄

▼ナガイ・ショーゾーさん
ナガイ・ショーゾーさん(*)のことは、カタカナの名前で有名な先生だとは知つてましたが、面識はありませんでした。

岩手共人会事件と織田秀雄のことを知りたくて、数項目の質問を書いて手紙を出すと、どさつと10冊ほど水沢の地域文雑誌『扇状地』が送られてきました。これを読めというわけです。

ナガイさんとの交流はそれだけでしたが、その後は織田秀雄顕彰会の佐藤秀昭さん、宍戸春雄さんから教えられました。またナガイさんが呼びかけていた織田秀雄顕彰碑が2009年1月に建立されたとき、同盟も県本部と釜石支部が協力募金に取組みました。2015年1月には同盟胆江支部が結成され、以後毎年、織田秀雄顕彰会が地元住民とともに開催されるようになりました。

▼深澤秀男さん

『新しき明日』には、キリスト教ホーリネス教会への弾圧事件と日米開戦によってスペイ容疑で検挙された盛岡市善隣館のギルバート牧師(*)のことが載っています。

「国体の変革」をはかる共産主義者とみなされ、思想犯として弾圧された人びとと同じように、治安維持法の二度目の改悪で「國体を否認し、冒流する」ものとして国家神道以外の宗教者が弾圧されました。キリスト教徒には、「偉いのは天皇かキリストか」と天皇崇拜を強制しています。

そうしたキリスト教への弾圧の歴史について、岩大教授で、教科書・靖国神社問題岩手県市民ネットワークの深澤秀男さんは、いろいろ教えていただきました。深澤さんは2月11日の建国記念の日の集会や宗教者9条の会のつどい、映画「草の乱」や「母」の上映運動で、いつも一緒にでした。

「治安維持法の問題は大事ですね。紙を信じる者も、信じない者も、力を合わせて戦争に反対しましょう」と励まされました。

東日本大震災・大津波の直前の3月6日には、同盟として初めて東和土沢協会からの要請で「治安維持法と宗教弾圧・ホーリネス協会」について語つたこともあります。

甲の上
親に孝行 甲の上
まじめに働け 甲の上
主人に使える 甲の上
先生の言ひごとすく書けば
うそひもなんひも 甲の上
あいらだまきす通信簿
こんなものには用がない

小田秀雄



——「新しき明日」は、同盟の会員はもとよりですが、会員以外の多くの人びとにも教えられ、支えられて、ようやくまとめることが出来たのでした。